

# 元気なシニアで過ごし

団塊の世代が一斉に定年退職を迎え始めるといわれる2007年が目前にせまってきました。新聞や雑誌などでも退職後の過ごし方をテーマにした記事が目につきます。

会社や仕事の仲間との縁も途切れがちで、地域の中で新しい仲間をつったり、何かやりがいを感じられる活動をしたい、と考える方も多いようです。

団塊の世代の方、まだ定年は先だけと漠然と定年後を考えている方に、定年退職後を元気に活動している先輩達をご紹介します。

## 農家のお手伝いと 緑化ボランティア活動

### 横浜農と緑の会 はま農楽(の～ら)

「はま農楽」は農と緑のふれあいセンター（横浜市保土ヶ谷区）が主催する「市民農業大学講座」の修了生による、農家のお手伝い（援農）や緑化ボランティアなどを行うグループです。

「農家のお手伝いをしたい」、「土いじりが好き」という会員は178名（平成16年度）。援農や緑化ボランティア、技術向上のための研修に大忙しです。

#### 市民農業大学講座とは

農家の手伝いや緑化ボランティア等の活動をする市民の人材育成を目的として開催される講座です。実際の農作業を通じて農業の「ホントのところ」を知ってもらい、講座修了後は横浜の農業の応援団としての活躍が期待されています。

受講する皆さんは、退職を機に自分の技術や知識を向上させたい、自分の作ったものを食べて喜んでもらえるのがうれしい、という方や実家が農家だった、家庭菜園をしている、新たに畑を借りたばかりで技術を身につける必要に迫られた、という方など様々な動機から応募されます。この講座で力をつけたメンバーが「はま農楽」を動かしています。



#### フォローアップ研修

ふれあいセンターを中心に行われています。取材に訪れた日は、「野菜」の活動日で、春に向けて熱心に土作りが行われていました。前日の「花」の活動日には花壇の手入れを行ったそうです。また「果樹」の活動では、協力農家へ出向いてナシの摘果、ブドウの摘粒、ウメやクリ、カキの剪定などが行なわれています。こうした日頃の努力が農家の信頼に応える援農活動に結びついています。

#### はま農楽の活動

「市民農業大学講座」の始まった当初は、せっかく学んだ技術を活かすための仕組みが整っておらず、卒業生は講座の実習などで知り合った農家で個人的にボランティア活動をしていました。

一方では、後継者不足や農業従事者の高齢化など横浜市内の農業を取り巻く環境が厳しくなっているという問題がありました。

活動の場を探していた講座の受講生と従事者不足に悩む農家との間を行政が取り持って、「はま農楽」の活動は始まりました。

はま農楽のメンバーは農や食の安全に関心のある幅広い年代の人たちのなかから、定年退職者や子育てに区切りのついた人などが中心となって生き生きと活動をしています。

#### 楽しいんです!

農家から要求される作業はレベルの高いものや、内容のきついものもありますが、会員の皆さんは年齢に関係なく、熱意を持って臨んでいます。

「フォローアップで技術が向上するのはうれしいし、それを活かせるのが楽しい。」「きつい作業でも終わったときの農家の方の喜ぶ顔を見ると疲れも忘れる」「クリやカキの剪定など、専門的な指導を受けられてうれしい」等々、今までの仕事とは違った充実感と、「まだまだ頑張りたい」という皆さんの思いが伝わってきます。

「はま農楽」「市民農業大学講座」に関するお問合せは、

横浜市緑政局農政部  
農と緑のふれあいセンター

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町213

TEL: 045-711-0635 FAX: 045-721-6356

<http://www.city.yokohama.jp/me/green/fureai/hureaicenter.html>



